

の暮らしは

1 町が抱える課題

- ▷ 町全体としての課題
 - ・ 県内一高い高齢化率、医療体制、若者人口の減少など
- ▷ 情報分野における課題
 - ・ 超高速インターネット未整備、同報無線設備の老朽化、公共施設間通信網の未整備

これらの課題解決のため、わたしたちの町に合った情報通信技術の活用を検討します。

3 将来的な利活用

- ▷ 最終目的
「情報通信技術を活用した
住民サービスの向上」
- ▷ 将来的に考えられる利活用
 - ▶ 医療・健康増進
遠隔診療の推進・健診結果のデータ利用
 - ▶ 介護・福祉
買い物支援など高齢者支援の充実
 - ▶ 防災
新たな防災システムの充実
 - ▶ 教育
国が進める IT 化の検討
 - ▶ 商工観光
商工・観光情報の発信

▶ 今後の進め方(予定)

- ① 調査・設計業務(平成 26 年 2 月～平成 26 年 6 月末)
 - ② 施工・管理業務(平成 26 年 6 月末～平成 27 年 3 月末)
 - ③ 運営(平成 27 年 4 月～)
- ▷ プロポーザル審査の結果、中国ブロードバンドサービス株式会社の提案を受け入れ、調査・設計業務契約を締結しました。
2月7日契約、契約金額 32,907,000 円
契約期間 平成 26 年 2 月 7 日から 6 月 30 日まで
- ▶ この町に合った制度設計の検討
高速無線、光ケーブル網の調査・設計、無線区域・光区域の区分け、学校を含む主要公共施設を結ぶ光ルート等の確定

2 計画の概要

- ▷ 整備内容
 - ・ 高速無線と光ケーブルによる通信網を構築
 - ・ 町内全域を無線区域と光地域に区分(超高速インターネット(100～200Mbps)、実効速度は 30Mbps 以上(国庫補助対象基準))
 - ・ 各世帯には情報端末機を設置(現在の戸別受信機の役割、屋外スピーカーに対応、端末機の設置・各世帯への引き込みは町で負担)
- ▷ 整備目的
「将来への利活用に向けた基盤の整備」
- ▷ 想定事業費 15 億円
- ▷ 財源の内訳
 - ・ 国、県補助金 …… 6 億 5,000 万円
 - ・ 合併特例債 …… 8 億円
 - ・ 地域振興基金 …… 5,000 万円

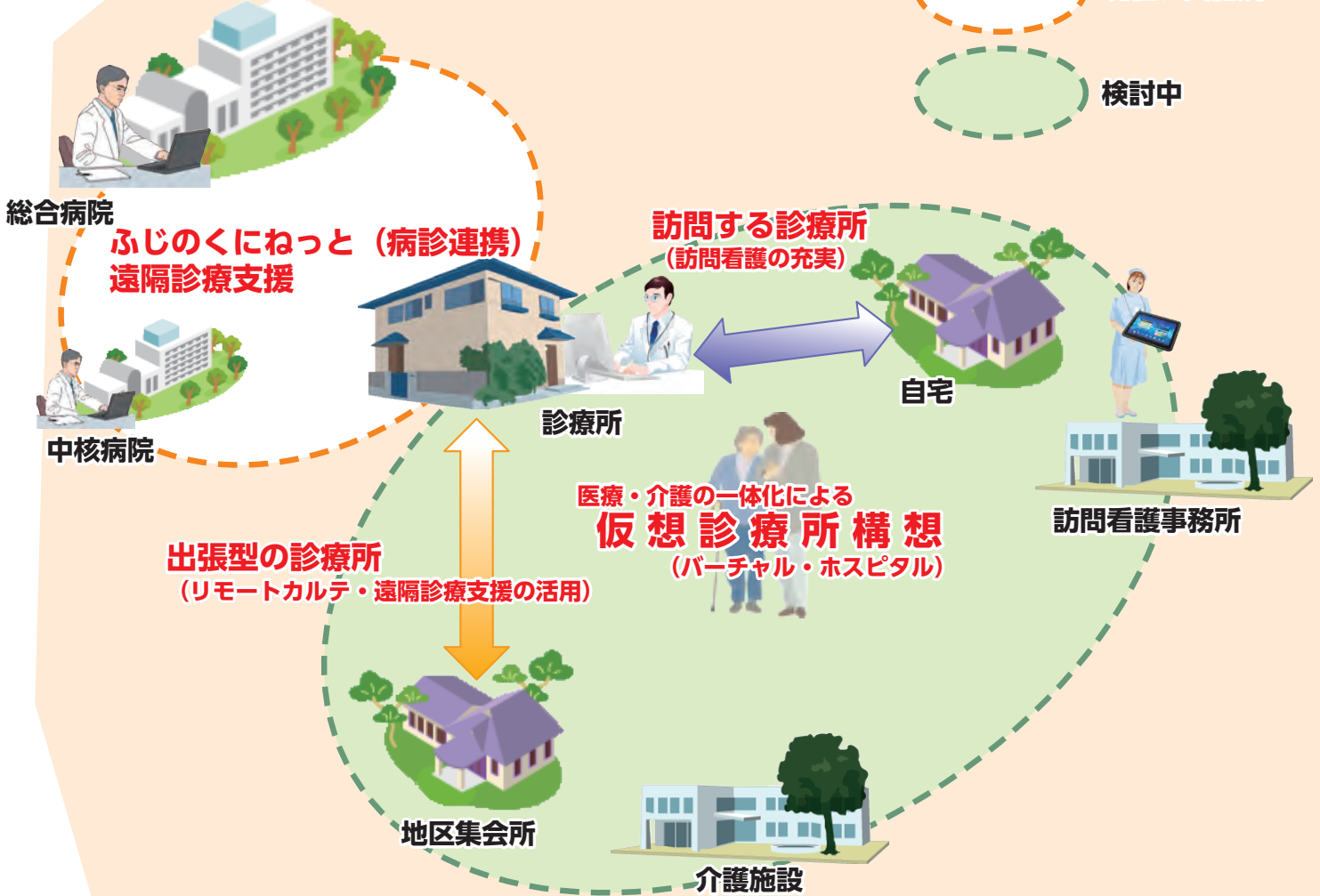
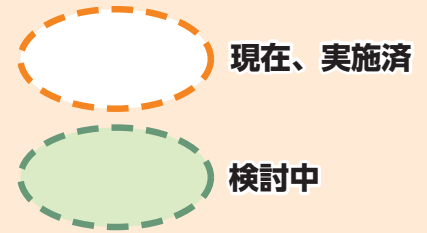
用語の説明

◇ bps(ビー・ピー・エス)…1秒間に転送できる情報量を表す単位(1Mbpsで、文庫本1冊の情報量を1秒間で転送することが可能。)国庫補助対象基準は30Mbps以上の通信速度を有する基盤整備。

◇ 合併特例債…利子を含む70%が交付税算定額に算入。返済する金額の7割を補てんされる財政支援制度。(利率2.5%、返済期間15年の条件で8億円を借り入れた場合、実質の返済額は、年間平均1,835万円となり、15年×1,835万円=2億7,525万円となります。)

3 わたしたち

▼町が将来的な利活用を検討する事業の一例
事業名「川根本町仮想診療所構想」



(解説) 「地域にいながらにして専門医の診療を受けることができる」と本町唯一の公設公営診療所である「いやしの里診療所」では「ふじのくにねっと」による遠隔診療が導入されています。町では今後、「高度情報基盤」を活用し、総合病院を持たない町民の不安解消と、近隣の総合病院に通院する負担解消、専門医療を受けることで得られる安心感を、さらに「自宅」や「地区集会所」などでも受けられるよう整備していくのが「医療・介護の一体化による仮想診療所構想」であり、将来的に考えられる利活用の一つです。

4 これから

これまでに、公募型プロポーザルを行い、募集に対して4社が手を挙げましたが、最終的には1社だけが具体的な提案書を提出しました。1月23日に提案の説明を受け、2月7日に調査・設計業務の契約締結をしました。現在、慎重に事業を進め、この町に合った制度設計を行っています。

また、昨年暮れの瀬平地区を皮切りに、全地区・日曜

開催を含め計23回の町政懇談会席上で整備事業構想について説明させていただきました。賛成意見のほか、厳しい注文もいただきました。いただいたご意見を真摯に受け止め、この町に合ったより良い事業整備を進めていきます。今後につきましても、丁寧な説明と情報公開に努めていきますので、事業について町民の皆さまのご理解をお願いします。